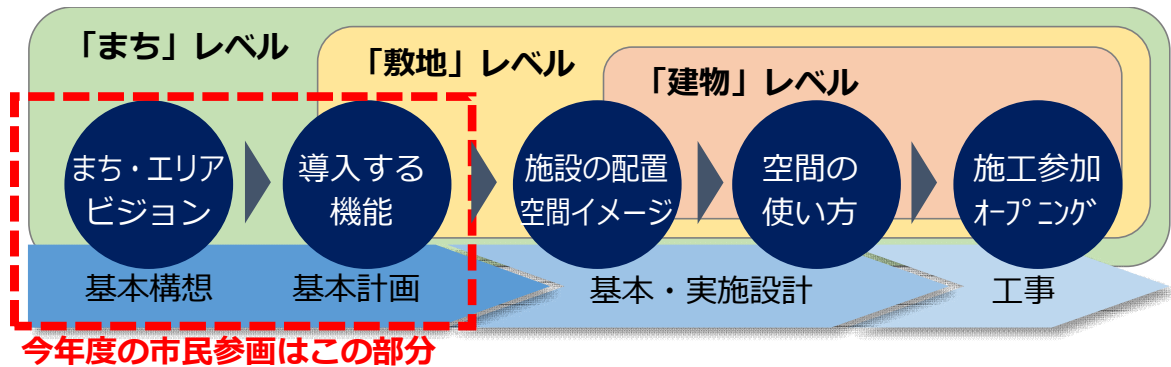


市民ワークショップの企画（変更案）

■新庁舎建設における市民参画の流れ



■今年度の市民ワークショップの流れ

【第1回】新庁舎建設をきっかけとした南九州市のまちづくりについて語り合おう <9月下旬>

市全体の
まちづくり

- これからの庁舎のあり方（市の考え方）の説明
- 南九州市のもっと暮らしやすいまちになるために、どのような行政サービスが提供されるとよいか、行政サービスを提供する上でどんなことに配慮すべきか、を出し合い、意見をまとめる
- 出し合った意見を踏まえ、どんな庁舎ができればよいかについて話し合い、キャッチフレーズをつくる



【第2回】知覧、穎娃、川辺のことを語り合おう <10月中旬>

各地域の
まちづくり

- 現庁舎・支所庁舎の活用、支所機能の在り方、各地域の振興について各地域で話し合う
- ※ 各支所での開催を想定し、3地区ごとに時間を分けて1日で実施することを想定

【知覧】まちなかに必要な機能、現庁舎の土地・建物の活用アイデア

【川辺】地域に必要な行政サービス、まちなかの施設の再配置

【穎娃】地域に必要な行政サービス、支所の活用アイデア

【第3回】新庁舎周辺のまちづくりと必要な「モノ」「コト」について語り合おう <10月下旬>

新庁舎周辺の
まちづくり

- 少人数のグループに分かれて新庁舎周辺のまちあるきをする（新庁舎のイメージを深める）
- このエリア・新庁舎に必要なモノやコトを出し合い、必要な理由を話し合う
- 特に必要なモノ・コトに選び、何を優先した方がよいかを共有する

